

意見・感想

- ・今年度の総括、来年度への方向づけにむいてたいへん参考になりました
- ・ビジュアル的なスライドが使われていて、要点を抑え、分かりやすかった。P.5 4-2 学校運営協議会 対等に協議となるように学校の応援団を増やす、巻き込むことなどの大切さがよくわかりました。但し、長すぎる。
- ・評価のイメージがわずかではあるができた。
- ・参考になりました。評価について再認識し、
- ・講話が少し理解できなかった。これから迎えなければならない、評価の方向性はやや理解できたが、そこから生まれる問題点の説明が頭の中でスッキリしない。
- ・学校関係者としての応援団を増やす努力が、今後重要になってくると思いました。
- ・講師の話がとても参考になった。
- ・学校評価については、今後の大きな課題であった。タイムリーに興味ある事項について最新の情報が開けてとても参考になった。今後（来年度）の取り組みに活かしていきたい。
- ・なぜ学校評価が必要なのか、また外部評価とは、第三者評価とは、といろいろなことが分かりました。
- ・学校を支援してくれる人を増やすための「評価」を工夫をしていくことの大切さが分かりました。
- ・評価の意義や、自己評価、学校関係者評価、第三者評価の仕組みがわかった。実際の取り組みとなると、地教委が主体的に働きかけてくれないと、第三者評価までは困難だと思った。
- ・学校評価についてかなりスッキリしました。
- ・もう一度講話を聞くと、もっと分かると思いました。
- ・ピンチをチャンスに変える組織づくりの大切さ、そのためには目標管理が重要になってくる。今までしていた外部評価は外部評価になり得ないことがわかった。学校の応援団を作るという風に考えれば、あまり構える必要ないかなと思った。メタ評価という方法もこれから必要なんですね。
- ・（講話）スクリーンと手持資料が同じだったので、お話しが聞き取りやすかったし、メモも取りやすかったです。但し、あまり細かくすぎて見にくい所があった。評価について動向詳細がよくわかった。
- ・講師の話がとてもわかりやすく、いい講演でした。
- ・寒かったです。温度の設定が低いのでしょうか。
- ・評価について大変勉強になりました。
- ・「外部評価を活用した学校運営の改善」についての講話は具体的でとても分かりやすかつ

た。学校評価のシステムがよく分かった。現在の学校評価を見直したいと思う。

- 私たちは常「学校、保護者、地域の連携」ということを目指してまた校務運営の一つの柱としてやってきていますが、協力をお願いして、支援していただくことで連携というように考えていました。しかし、今日の研修で、同じ土俵で学校の教育課題や教育目標について考え、語るというところからのスタートが必要だということがわかりました。評価の意味、評価でめざすもの等、理解できました。今後の学校経営、運営に生かしたいと思います。
- 校長のビジョンを共有化させていく仕組み作りの重要性、外部評価の考え方、効用について、少し理解できた。校務運営構想に役立てたい。
- 大変分かりやすい説明であった。
- 外部評価の必要性、大切さをいろいろな事例により、わかりやすく、説明していただきました。特に第三者評価の活用を今後有効に行っていくことが課題である。
- 外部評価は色々問題になっているが、今日の話聞いて理解できた。
- 具体的でわかりやすい講演でありありがとうございました。クレイマーも、モンスターも、学校の応援団にどんどん組み込んでいく、そのための戦略を立てることに意欲がわいてきました。よく言われていたビジョンとミッションおもしろいたとえですとんと心に落ちたような気がします。それに伴う評価内容、評価方法についてももう少し校内研修が必要だということがわかりました。(教師の意識を一つにしたいです)
- 評価についてどのようにとらえたらよいかとても分かりやすく説明された講話だったと思います。例を挙げて、具体的に説明して下さったこと、細かい説明下さったことが特によかったです。ボトムアップができるとよりよい組織的評価へつながると思いますが、現実難しい点があります。しかし、意識的にボトムアップから外部の有効的な評価へと変えていかないといけないと思いました。